

目的 前報に引続き、本報ではのりつけ布の制電効果について、調製された3種の湿度環境下に各種ののりつけ布を一昼夜以上放置後、前報と同様 *Static Honeato Meter* により帯電圧ならびにその半減期を測定し、主として各湿度下での影響について、材質別、のり別、濃度別に考察を試みた。

方法 試布の湿度調製は硫酸デシケータ中で行った。湿度は40、60、80%とし、調製湿度の確認は鋭感湿度計により行い、この中に一昼夜以上放置した。試布は、綿、毛、レーヨン、アセテート、ナイロン、ポリエステルのものである。のりの種類は、デキストリン、CMC(1)、CMC(2)、PVAの4種で、濃度は、0.05、0.1、0.5、1.0%の4段階に分けて行った。

結果 帯電圧は、材質別についてみると、毛が最も大で、レーヨンが小であった。また親水性繊維(綿、毛、レーヨン)は、調製湿度が大になると帯電圧が小となる傾向がみられたが、疎水性繊維(アセテート、ナイロン、ポリエステル)には湿度による差は、ほとんどみられなかった。半減期については、調製湿度が大になる程、各材質とも明らかに減少することがわかった。親水性繊維の半減期はきわめて少なく、またのりの種類と濃度間にはあまり差はみられなかった。疎水性繊維の半減期は大で、のりの種類、濃度間に差が明らかにみられるものがあった。